取扱説明書

品質保証書付き

OMRON
All for Healthcare
5341534-7A

オムロン 電子体温計
MC-682
わき専用

医療機器認証番号：225ACBZX00053000

けんおんくん

■このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
■本書はいつもお手元においてご使用ください。
■本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

次のものが入っていますか？

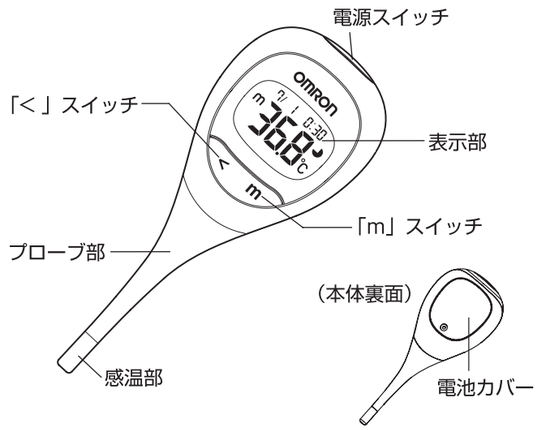
1. 本体
2. お試し用電池 （リチウム電池CR2032×1個）
   ※お買い上げ時は本体に内蔵されています。
3. 収納ケース
4. 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
   ※品質保証書は裏面についています。紛失しないようにしてください。
5. 医療機器添付文書
6. EMC技術資料

けんおんくんMC-682ってどんな体温計?

小さなお子様の体温を測ってあげるための体温計です

●わきで測る体温計です。
●約15秒の測定で、約10分後の体温を予測します。
●最大10回分の測定結果を日時つきで記録します。
●ブザー音をオフにすることができます。
●暗いところでも見えやすいバックライトつきです。
●お子様にやさしい、やわらかい先端部です。

各部の名前



安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

●ここに示した内容は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
●表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

必ず守る ●記号は強制（必ず守ること）を示します。（左図は“必ず守る”）

禁止 ⃠記号は禁止（してはいけないこと）を示します。（左図は“禁止”）

⚠ 警告

必ず守る 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

必ず守る 電池やネジ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
乳幼児が電池やネジ、電池カバーを飲み込む恐れがあります。飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。

禁止 検温結果の自己判断はしないでください。症状の悪化につながることがあります。治療は医師の指導に従ってください。

禁止 人の検温以外に使用しないでください。
動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。

禁止 本商品はわき専用の体温計です。わき以外（耳や口中など）で検温しないでください。
正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。

禁止 本体が水などでぬれた状態で検温しないでください。
正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

電池を加熱したり、火の中に入れたりしないでください。
破裂などにより、けがの原因になります。

⚠ 注意

電池の⊕⊖極を正しく入れてください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

必ず守る 指定の電池を使ってください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

本体は、防水ではありません。
本体内部に、水などが入らないようにしてください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

本体を噛まないでください。
事故や故障の原因になります。

禁止 複数の人で共用しないでください。
病原菌に感染する原因になります。

強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

分解禁止 分解や修理、改造をしないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

お願い

本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。

設定する

「ブザー」・「日付」・「時刻」を設定する

1 電源OFFの状態で「m」スイッチを3秒以上押すとブザーマークが点灯する

2 「＜」スイッチを押してブザーのON/OFFを選択する

3 「m」スイッチを押して確定する

※確定後、年/月/日/時/分の設定モードになります。
※ブザーの設定をOFFすると、全てのブザー（電源ON/OFF、検温終了、エラー発生時）が鳴りません。

4 「年」を設定する

「＜」スイッチを押して「年」を合わせます。
「m」スイッチを押して確定します。
※設定範囲は[2013] ～ [2040] 年です。
※2040年まで進むと、2013年に戻ります。

5 同様に「月」、「日」を設定する

6 同様に「時」、「分」を設定する

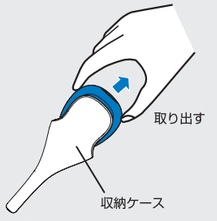
「分」が確定し設定完了です。

7 設定が完了したら電源スイッチを押して電源を切る

※もう一度「m」スイッチを押すとブザー設定画面に戻ります。
※電源を切り忘れても、15分後自動的に電源が切れます。
・記録されているメモリの日付・時刻を修正することはできません。

体温の測りかた（検温）

1 体温計を収納ケースから取り出し、電源を入れる



電源スイッチを押す

表示部が全点灯
10秒間バックライト点灯

m：メモリマーク
：ブザーマーク
：予測マーク
：実測マーク
：電池交換マーク

2 「L」が表示されたら、感温部をわきの中心にしっかりはさむ

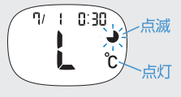
感温部をわきの中央にあて、下から押し上げるようにして、わきをしめます。

手でしっかりと押さえるようにして、体温計が動かないようにしてください。

検温ポイントがずれると、検温値は低くなります。

わきの温度は中心ほど高く、周辺は低くなっています。

検温準備完了



【こんなときは】

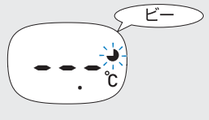
●外気温（周囲環境温度）が32℃を超えると感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

●日付・時刻を設定していない場合は、このように表示されます。

検温中

●検温中に体温計がずれたときは「ピー」というブザーでお知らせします。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください。

※この機能は、予測検温中のみはたらきます。



3 約15秒後にブザーが鳴り、予測検温が終了する

検温が終了すると「◕」と「℃」が点灯

バックライトが20秒間点灯

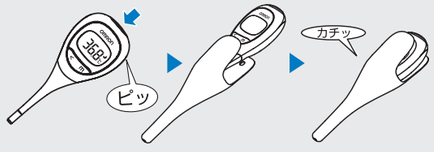
※体温計のはさみ方や検温時の条件などにより、測定が延長される場合がありますが、ブザーが鳴るまではさみ続けてください。
※ブザー設定をOFFにしたときは、バックライト再点灯まではさみ続けてください。

【こんなときは】

予測エラーが表示されるときがあります。裏面「故障かな？と思ったら」、「エラー表示について」を参照してください。

4 電源を切って、収納ケースに入れる

電源スイッチを押すと、「ピッ」と音がして電源が切れます。
体温計を図のような向きで、収納ケースに入れてください。



お知らせ
●この時点で電源を切らなければ、続けて実測検温が始まります。
●検温していない状態で、電源を切らずに放置した場合、オートパワーオフ機能によって約15分後に電源が切れます。

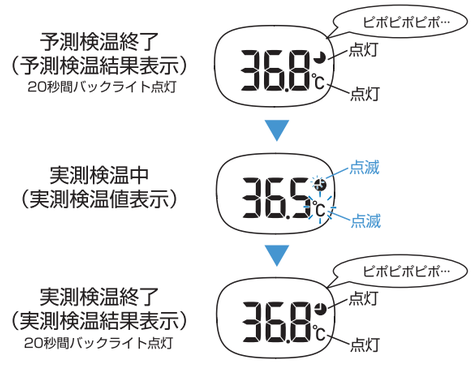
実測検温をする場合

※医師の指示などで、より厳密な体温測定が必要な場合

3 の予測検温が終わったら、そのままわきにはさみ続けてください。

予測検温開始から、約3分後に実測検温値表示に切り替わります。
切り替わった直後に表示される検温値は、予測検温結果より少し下がります。

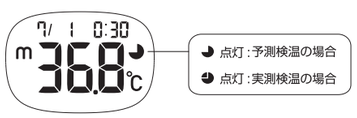
約10分後にブザーが鳴ると、実測検温が終了です。検温結果を確認し、電源を切って、収納ケースに入れてください。



測定記録の呼出しかた

1 電源 OFF の状態、または検温終了後に「m」スイッチを押す

最新の測定記録が表示され、バックライトが点灯します。

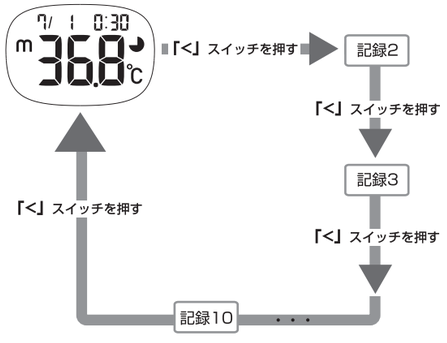


測定記録表示後、バックライトが２０秒間点灯。

2 「<」スイッチを押して過去の測定記録を見る

最新の測定記録が表示された状態で**【<】**スイッチを押すと、一つ古い測定記録が表示されます。最も古い測定記録を表示している時は、再度**【<】**スイッチを押すと、最新の測定記録を表示します。

最大で10回分の測定記録を表示します。



測定記録を削除する場合

測定記録呼出し中に、「m」スイッチを押しながら電源スイッチを３秒以上押し続けてください。
削除完了画面が表示されれば完了です。スイッチを離してください。

【この表示は】

測定記録の削除が完了したことを示しています。

測定記録が全て削除されます。測定記録を１つずつ削除することはできません。

こんなときは正しく測れません

通常より検温値が高くなる場合

※検温値が 42℃を超える場合は「H」表示になります。

- ●運動や入浴、飲食の直後
  30分以上時間をあけましょう。
- ●長時間布団の中にいたりして、熱がこもっているとき
  こもった熱を冷ましてから検温してください。
- ●起床後すぐに動き出したとき
  起床後、動く前に測るか、動き出してから30分以上時間をあけましょう。

通常より検温値が低くなる場合

※検温値が32℃未満の場合は「L」表示になります。

- ●体温計の感温部が、衣服に触れている
  衣服に触れないようにして、もう一度測り直してください。
- ●体温計が、正しい位置にあたっていない
  体温計の感温部をわきの中央にあて、下から少し押し上げるようにはさんでください。
- ●連続して検温したとき
  一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください。
- ●わきの下が汗ばんでいるとき
  わきから汗をきれいに拭き取りましょう。

故障かな？と思ったら

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっていませんか。	「体温の測りかた（検温）」を確認してください。

■検温準備完了時に「L」表示が出ない

感温部の温度が 32℃未満のときに「L」表示します。
32℃以上のときは実際の温度を、42℃を越えると「H」を表示します。

ここを確認する	処置のしかた
連続して検温していませんか。	感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示されない

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていませんか。	電池を正しく入れ直してください。
●電池が消耗していませんか。 ●表示部に「⌧」が表示されませんでしたか。	新しい電池（CR2032）と交換してください。

■ブザーが鳴らない

ここを確認する	処置のしかた
ブザーの設定が OFF になっていませんか。	ブザーの設定を ON にしてください。

■予測エラー表示「Err」が出る

ここを確認する	処置のしかた
予測検温中に、わきにはさみながら体温計を動かしたり、体を動かしたりしませんでしたか。	そのままはさみ続けて実測検温をおこなうか、一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください（「体温の測りかた」を確認してください）。

【ご注意】

予測エラー表示は、温度上昇の分析・演算に障害が発生したときに生じます。

なぜ約15秒で測れるの？（予測検温のしくみ）

■体温とは・・・

脳や内臓など、温度変化の少ない体の内部の温度のことを言います。

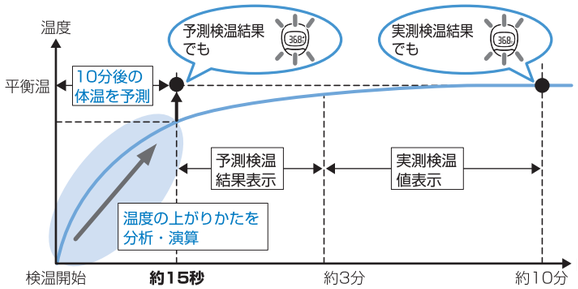
■通常、わきの下で正しい体温を測るには約10分必要

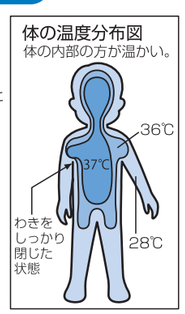
わきの下は温かいように思えますが、ある程度外気に触れているため、体の内部と同じくらいの温度になるまで、しっかり閉じて約10分間かかります。

※このように体の内部と同じくらいに温まったときの温度を「平衡温」といいます。

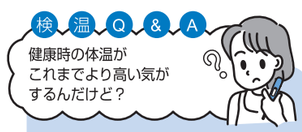
■10分後の体温を約15秒で予測する

オムロンのMC-682は、検温開始から温度の上がりかたを分析・演算することで、約15秒で約10分後の体温を予測することができます。





※予測検温だけでなく、実測検温もできます。
医師の指示などで、より厳密な体温測定が必要な場合は実測検温してください。実測検温のしかたは、「実測検温をする場合」を参照してください。



実測式の体温計で3～5分測った場合と比べてませんか。実測式で10分より短い時間で測ると、実際の体温より低い値が出る場合があります。また、正確に測定した日本人の平均的な体温（健康時）は36.89℃±0.342℃※です。
たとえば37.0℃でも平均的な平熱の範囲で、必ずしも発熱とは限りません。

※出典
東京大学医学部 田坂内科：
日新医学44（12）：
633-638, 1957　より

エラー表示について

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
Er.0 ※数字は 0～6 を表示	本体が故障している可能性がある。	オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。
AH- ※	体温計が約 40℃を超えるところに保管してあった。	10℃～40℃の部屋に最低1分間置いてから、検温してください。
AL- ※	体温計が約 10℃未満のところに保管してあった。	10℃～40℃の部屋に最低1分間置いてから、検温してください。
Err℃ ※	予測検温中に温度上昇の分析・演算に障害が生じた。	そのままはさみ続けて実測検温をおこなうか、一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください。
--.-℃ ※予測検温中のみ	体温計をわきに正しくはさめていない。または、わきからずれている。	一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください。

電池の交換のしかた

使用電池：リチウム電池CR2032（市販品）1個

電池交換のお知らせ

電池交換マークが表示されたら電池を交換してください。

※電源を入れて、表示部が全点灯した時は電池交換マークも一時的に表示されますが、電池消耗ではありません。

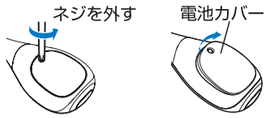
電池を交換しても、ブザーの設定値と測定記録は保持されます。
電池を交換した後は、日付と時刻を設定し直してください。

点滅：まもなく電池がなくなります。

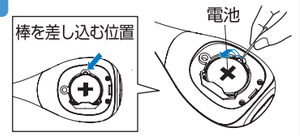
点灯：電池がなくなりました。測定できません。

交換のしかた

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバーで外し、電池カバーを外す



2 細くて折れにくい棒で電池を取り外す



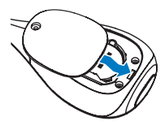
※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。

3 電池を（＋を上にして）、図のように入れる

❶ ＋面が上

❷ ツメの下に入れて押さえる

4 電池カバーを元通りに取り付けて、ネジで固定する



お願い

- ●お買い上げ時は、本体にお試し用電池が内蔵されています。お試し用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがありますので、ご了承ください。
- ●使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

お手入れと保管

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

- ●本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- ●汚れがひどいときは、水または薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でからぶきしてください。
- ●下記のことを守ってください。故障の原因になります。
  - ● 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
  - ● 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
  - ● 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
    ※この電子体温計は弾性材（ポリエステル系熱可塑性エラストマー）を使用しており、消毒用薬品、消毒方法により変色、変質、変形することがあります。
  - ● 超音波洗浄をしないでください。
  - ● 水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布で拭き取ってください。

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

- ●下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
  - ● 水のかかるところ。
  - ● 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
  - ● 傾斜、振動、衝撃のあるところ。
  - ● 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

仕様

販売名	オムロン 電子体温計 **MC-682**
医療機器認証番号	225ACBZX00053000
類別	機械器具16体温計
一般的名称	電子体温計
医療機器分類	管理医療機器
電源電圧	DC 3V （リチウム電池CR2032×1個）
電池寿命	約2200回（予測検温） 約400回（実測検温）
感温部	サーミスタ
測定方式	予測・実測（ピークホールド方式）
体温表示	3桁＋℃表示、0.1℃毎
測定精度	±0.1℃（標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合）

測定範囲	32.0～42.0℃
メモリ	10回分
ブザー	ON/OFF
日付	2013年1月1日～2040年12月31日
時刻	0:00～23:59　24時間表示
使用環境温湿度	周囲温度：＋10～＋40℃、相対湿度：30～85%RH
保管環境温湿度	周囲温度：－20～＋60℃、相対湿度：10～95%RH
本体質量	約25g（電池含む）
外形寸法	41（幅）×108（長さ）×19（厚さ）mm
付属品	●お試し用電池（リチウム電池 CR2032×1個） ●収納ケース ●取扱説明書（品質保証書付き） ●医療機器添付文書 ●EMC技術資料

電磁両立性規格　本商品は EMC 規格　IEC 60601-1-2：2007に適合しています。

オムロン 健康商品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロン お客様サービスセンター

ダイヤルは正確に　電話 **0120-30-6606**　通話無料　FAX **0120-10-1625**　通話無料

受付時間　**9:00~19:00 月~金**（祝日を除く）

都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させていただいたりする場合があります。

ホームページ　http://www.healthcare.omron.co.jp/

※通信料はお客様ご負担となります。（別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。）

製造販売元　**オムロン ヘルスケア株式会社**

〒617-0002京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後１年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）品質保証書の提示がない場合。
   （ホ）品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ヘ）消耗部品。
   （ト）故障の原因が本商品以外に起因する場合。
   （チ）その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

品 質 保 証 書

このたびは、オムロン商品をお買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。

※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

販売名　オムロン 電子体温計 **MC-682**

ご芳名

ご住所

TEL　（　　）

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいてください。

お買い上げ店名　㊞

住　所

TEL

お買い上げ年月日　　年　　月　　日

製造販売元　**オムロン ヘルスケア株式会社**

〒617-0002京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地